令和４年１月３１日発行

沓掛小学校だより

未来を拓く　～元気・やさしさ・かがやく瞳～

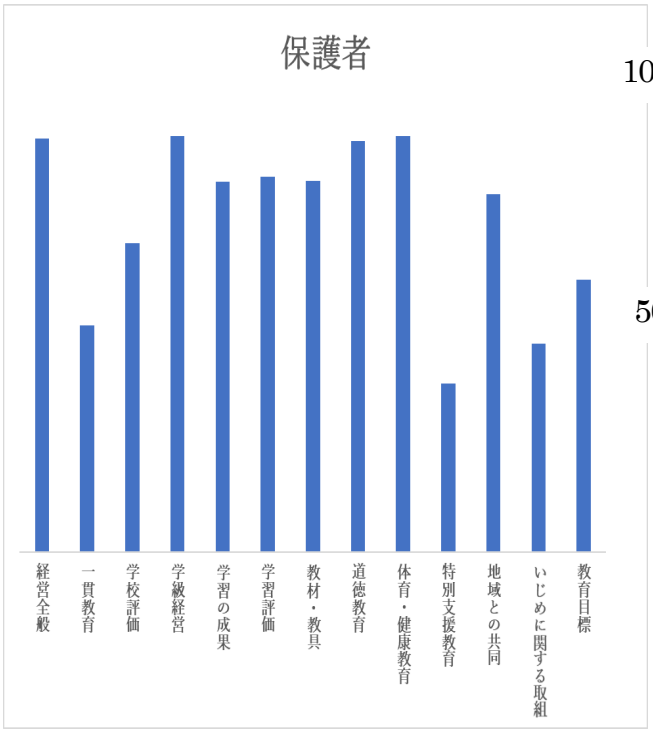
2月号
NO. 626
http://www.suginami-school.ed.jp/kutsukakeshou

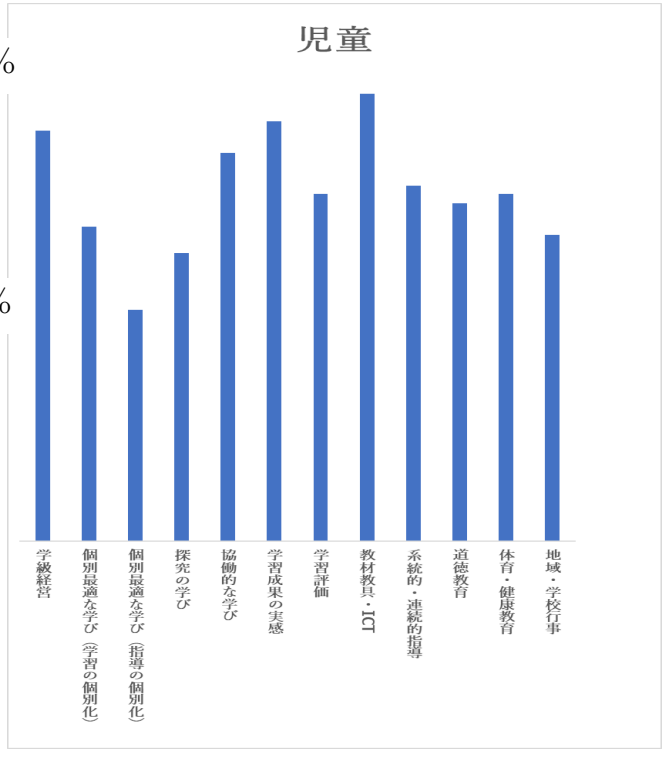
令和３年度　教育調査の結果から

副校長　　坂本　貴史

昨年12月に保護者の皆様にご協力いただきました「令和3年度　教育調査」の結果のご報告を致します。今回から調査方法が、紙(マークシート)からデジタル(FORMS)に変更しました。また、児童調査の対象学年を、5･6年生から3･4･5･6年生としました。次年度の児童調査は、1 年生から全学年行う予定です。下のグラフは、保護者と児童の今年度の肯定率を表しています。肯定率とは、5段階評価及び「分からない」のうち「とてもそう思う」「ややそう思う」に〇を付けていただいた割合のことです。今年度も、学校公開を実施しておらず、保護者の皆様に授業の様子をご覧頂く機会が少ないため、昨年に引き続き「分からない」というご意見を多く頂きました。その中でも、保護者の皆様から 85%以上の肯定率をいただいている項目「学校経営」、「学級経営」、「道徳教育」、「体育･健康教育」については、本校の教育活動を概ねご理解いただいていると捉え、さらなる充実を目指してまいります。肯定率が低かった項目の「小中一貫教育」、「特別支援教育」に関しましてはご理解を得られるよう、取り組み状況のご報告や情報提供などを充実させていく予定です。児童調査の結果は、概ねどの項目で高い肯定率でした。「学級経営」や「学習成果の実感」は 85%以上の肯定率があり、教育活動や行事が大幅に制限された中でも、児童一人一人にとって満足感が得られる授業や活動ができました。新規項目である、個別最適化の学び「学習の個別化」と「指導の個別化」では、「学習の個別化」の肯定率は高いものの、「指導の個別化」が低い結果でした。一人一台タブレットの導入により、各自が自分のペースで学びやすくなりました。一方で、「指導の個別化」について児童一人一人のニーズを把握し、その児童にとってふさわしい学びの機会を提供できるよう、個別最適化の学びを今後も充実させて参ります。

自由記述においても、多くのご意見をいただきました。回答につきましては、次ページに掲載させていただきました。その一つ一つを真摯に受け止め、よりよい学校づくりに生かして参ります。学校運営協議会の場でも、アンケート結果及び自由記述のご意見は全て確認しております。また、皆様からのご意見は、教育調査に限らずその都度お受けしておりますので、お気付きになった点はどうぞご遠慮なく担任または学校へお申し出ください。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。





≪自由記述≫

○新型コロナウィルス対策について ・コロナの制限を、感染者が少ない期間は緩めてもいいのではないでしょうか。 ・小学校では、コロナ対策としてパーテーションやフェイスシールドの活用予定はないのでしょうか。	・新型コロナウィルス感染症対策は、杉並区のガイドラインに基づいて取り組んでおります。緊急事態宣言中、まん延防止等重点措置期間中、解除中などで教育活動の制限がされています。状況に合わせ、感染症対策をしながら可能な限り充実した教育活動ができるように努めて参ります。 ・感染症対策の消毒液や物品の使用につきましては、杉並区のガイドラインに基づいて行っております。現時点ではパーテーション及びフェイスシールドは教育活動において必須のものではなく、文部科学省（通知）「学校に於ける新型コロナウィルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校に於ける新しい生活様式』」に記載のある通り、日常的に使用するのではなく必要な状況に応じて使用する予定です。
○オンラインでの授業公開や参観があってもよかったと思う。	・オンラインによる授業公開は、区のガイドラインにより現時点（令和４年１月20日）では実施できません。理由は、オンラインのアカウントは児童に付与したものであるためです。画面の向こうに児童がいることが前提であり、オンラインホームルームにより児童とつながりをもつためです。区のガイドラインは随時更新されており、保護者会や説明会はオンランやオンデマンドによる配信が可能になっております。状況に合わせてより良い方法を検討して参ります。
○共働き家庭が多い、平日の日中に在宅を前提とした取り組みを見直してほしい。	・保護者の皆様ができるだけ学校行事や教育活動に参加しやすいよう、改善の視点を常にもって見直して参ります。授業公開や各行事の土曜日の実施、保護者会や各説明会のオンライン化などが可能となりますが、状況に応じて実施の時期や時間帯を工夫して参ります。
○欠席連絡や配布物のデジタル化やデジタル教育の推進と充実をお願いしたい。	・２学期から欠席連絡や教育調査を、FORMS を活用して行っております。配布物については現時点では紙で配布しております。配布物のデジタル化は、児童の持ち帰り軽減や常時閲覧可能につながります。しかし、紙での配布を希望される方もいらっしゃいます。紙でも配布し、デジタルでも配信・掲載し、となりますと大変な手間と労力がかかります。SDG s の観点からもデジタル化（ペーパーレス化）が望まれますが、保護者や地域の皆様の理解が得られるまでは紙での配布を中心としています。
○タブレットと教科書の持ち帰りは重過ぎる。教科書を置いて帰るよう推奨してもらいたい。	・これまでと同様に教科書やノートと共にタブレットまで持ち帰ることは、児童に大きな負担です。タブレットを持ち帰る３年生以上は、宿題や自宅学習で使用しない教科書は、学年の実態に応じて学校に置いておいて構わないことにしております。また来年度から、児童用の教科書も順次デジタル化していく予定です。現在は漢字や計算のドリルがデジタル化でも利用でき（冊子でも配布しております）、令和４年度には５・６年生の外国語と社会科の教科書がデジタル化し、順次デジタル教科書へ移行していく予定です。
○タブレット上で有効と思うものと、紙ベースの方が良いと思うものがある。学習効果を考えてメリットがあることに対して使用してほしい。	・おっしゃる通り、紙にもデジタルにも双方のよさがあります。デジタル化にすることで、児童の負担が増えるのは本末転倒なことです。現在は紙とデジタルの転換期でもあるため試行錯誤しながらの部分があることは否めません。また操作上のやりにくさが生じていることがあります。紙のよさとデジタル教材のよさを十分検討し、双方のメリットを活かしながら使用して参ります。

○宿題について ・負担を感じる。 ・少ないと感じる。	・宿題については、量が多いというご意見と少ないというご意見をいただいております。毎年年度初めに各家庭に配布しております A3 カラー印刷「よくわかる！沓掛小学校」の「宿題と家庭学習」には、家庭学習の目安として各学年×10 分を推奨しております。宿題は基本的に、音読・漢字・計算が中心となりますが、学年や学級の学習状況により、多少その内容や量が増減することがあります。4 月の保護者会で学年や学級でも説明しておりますので、ご遠慮なくお尋ねください。
○英語教育や野外活動などをもっと積極的に取り入れてほしい。	・豊かな体験活動の充実は、道徳性の涵養や学びを深める大変重要な活動です。これまでも学校支援本部や外部機関と連携し、地域の農園や施設を活用した農業等の体験活動、地域探検や遠足などの活動を各学年の年間指導計画に計画的に位置付けて実施しております。英語教育はネイティブの ALT（外国語指導助手）や JTE（日本人英語講師）が教室で担任と共に授業を行っております。また学校支援本部によるふれあいフライデー（毎週金曜日）で英語を使った活動を行っています。今後も皆様のご協力をいただきながら、更に充実・発展させて参ります。
○タブレットが普及し、子供の視力低下が顕著。対応策を聞きたい。太陽光に 1 日 2、3 時間当たる事が良いとされるが、そのような対策を聞きたい。	・児童の視力は、昨年度の休校明けの視力検査から低下の傾向が見られています。タブレットの普及により画面を見る時間が増えたことや、外出の自粛により外遊びが少なくなったことが要因と考えられます。おっしゃる通り太陽の光に当たることが良いため、学校でも外遊びを奨励しております。校庭の他にも屋上や中庭、体育館を学年を決めて利用しています。児童の健康状況や対策につきましては、保健だよりにも随時記載しておりますので、毎月の保健だよりも併せてご覧いただけると幸いです。
○夏休み冬休み等の休みが長いのではないでしょうか。	・杉並区立学校の休業日（夏休みや冬休み）の期間は、「杉並区立学校の管理運営に関する規則」の第三条の二（休業日）に基づいて定められております。本校も上記規則に基づき、夏休みや冬休み、春休みの日程を決めております。学校によっては 8 月下旬から 2 学期を開始するなど学期の始期と終期に違いが見られますが、年間を通した授業日数は杉並区内の学校はどこも同じ日数となっております。
○クラス替えは毎年してほしい。	・毎年学級替えをするメリットとデメリット、2 年引き続くメリットとデメリットを毎年検討し、学校の経営方針として現段階では 2 年ごとのクラス替えとしています。今後も引き続き考慮して、検討して参ります。

※PTA 関係にも多くのご意見をいただきました。ＰＴＡ役員の方にもお伝えしておきます。

※たくさんのご意見、ありがとうございました。充分に説明できていない部分もあるかと思います。不明の点がございましたら、学校へお問い合わせください。

2月の生活目標 「寒さに負けない生活をしましょう」

生活指導部

１年で最も寒い季節となりました。寒さに負けずに元気に生活できることが 2 月の目標です。学校では、中休みには外で元気いっぱいに遊び、教室に帰ったら、手洗いをしっかり行っています。教室の換気にも気を付け、天気が悪く校庭が使えないときは室内で落ち着いて生活しています。ご家庭ではバランスの良い食事、十分な睡眠を心掛けてください。また、手をポケットに入れ、フードを深々とかぶって道路を歩くことは危険だということを指導しています。登校する際、ご家庭でも一声かけていただきますようお願いいたします。

≪2月の予定≫

月	火	水	木	金	土
31	2／1	2	3	4	5
放送朝会	出前授業（1）	委員会 下校14：00			
← 読書週間		→			
7	8	9	10	11	12
放送朝会	社会科見学（4）	水曜時程4時間 下校12：55	安全指導	建国記念の日	
14	15	16	17	18	19
放送朝会			短縄トライやる 華道体験（6）	セーフティー教室（薬物乱用防止）（6）	土曜授業 水曜時程3時間
				ユニセフ募金 →	
←		あいさつ運動（1）	→		
←		元気アップ週間	→		
21	22	23	24	25	26
放送朝会 クラブ		天皇誕生日	縦割り班遊び お祝い給食（6）		
	←	クラブ発表週間	→		
28	3／1	2	3	4	5
放送朝会		委員会	保護者会（高） 6年生を送る会 お弁当給食	保護者会（中）	

※今月の避難訓練は予告なしで行います。
※19日の土曜授業は、感染状況を踏まえて公開するか判断し、決まり次第お知らせいたします。
＊スクールカウンセラーの今月の出勤日：7日（月）、14日（月）、21日（月）、28日（月）

直通電話：3390−4191

研究授業5年生　社会科「自動車をつくる工業」

12月15日（水）に5年3組で校内研究授業がありました。

研究授業当日では、自動車づくりについて各自が調べたことを、グループで持ち寄って紹介し合い、グループのキャッチコピーを考えました。

調べ学習をして重要だと思ったことやキーワードを、付箋を使ってまとめる中で、自動車づくりに携わる人々の努力や工夫といった、単元の核心に迫る見方、考え方が児童の中に生まれました。

幼保小交流

生活科の学習で、近隣の幼稚園や保育園の年長さんを沓掛小学校に招待し交流会を行う予定でしたが、コロナウイルス感染拡大防止のため、中止になりました。新一年生にできるようになったことを教えたり、見せたりしながら小学校について紹介する予定でした。2月は準備してきたことを動画に撮る方法等で、入学してくる1年生のために学習を進めていけたらと考えております。